

新しい感染症対策の あり方に関する シンポジウム

受講料 無料
事前申込制

定員
1000名

新型コロナウイルス感染症パンデミック
対策の経験や知見を踏まえて、新しい
感染症対策のあり方に寄与できるよう
検討と発信を行う企画です。
皆様のご参加をおまちしております。

【開催日時】

2021

11/18(木) 17:00～
全体150分

【開催形式】

Zoomウェビナー

事前申込URL・QR

<https://tinyurl.com/3af4yj8v>



お問い合わせ

京都大学 社会健康医学系専攻
toiawase-sph@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

基調講演

門田 守人氏 [日本医学会連合会長]

「健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言のため
の情報分析と活用ならびに人材支援組織の創設」
(日本医学会連合)とこれまでの議論、あるべき姿(案)

シンポジウム

司会

吉中 丈志氏 [公益社団法人京都保健会理事長]

今中 雄一氏 [京都大学社会健康医学系専攻長]

吉中 丈志氏 [公益社団法人京都保健会理事長]

シンポジウムの目指すところ

今中 雄一氏 [京都大学社会健康医学系専攻長]

包括的なパンデミック対策フレームワーク

COVID-19の医療システムへの影響

増田 道彦氏 [京都府保険医協会監事/宇治徳洲会病院名誉院長]

医療現場から「感染症対応体制の見直しと保健所再生を」
(提言)の紹介

西浦 博氏 [京都大学環境衛生学教授]

「必要病床数の把握と医療逼迫に伴う死亡等リスクの変化」

コメンテーター

本庶 佑氏 [京都大学特別教授]